

平成30年8月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成30年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸の夏の夜空を彩る「第38回八戸花火大会」が、8月19日（日）に八戸館鼻漁港で開催されます。

スターメインやBGM付きの花火など約5,000発の多彩な花火が打ち上げられる予定です。

みなさま、ぜひ夏休みに八戸へお越しください。

■第38回八戸花火大会のおしらせ（オフィシャルサイト）

<http://www.8hanabi.jp/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 8月号 レポート

平成30年7月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	民俗芸能「えんぶり」初の大規模調査へ
(2)	是川縄文館特別展「海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～」開幕
(3)	八戸まちなか広場「マチニワ」オープン
(4)	市立屋内スケート場 スケート中心？興行に力？ 活用方法に議論過熱
(5)	八太郎地区に伝わる盆踊り「八太郎おしまこ」市無形民俗文化財に指定
(6)	屋内スケート場 屋根の鉄骨工事完了 進捗65%
(7)	世界遺産登録へ猪突猛進 インシシ折り紙2020個でオブジェ作り
(8)	バトン指導者の小笠原さん、小清水さん姉妹 八戸市スポーツ大使に
(9)	八戸市と苫小牧市が連携協定 交流人口の拡大目指す

【産業】

記事	概要
(10)	八戸圏域版DMO設立へ 関係3団体が統合合意
(11)	八戸港でマイワシ大漁続く 操業10日で昨季の2割
(12)	八戸と日南（宮崎）の道の駅「なんごう」同士 活性化へ連携協定
(13)	工大二高生開発 ～南部せんべいでスイーツ～
(14)	八戸港 船凍アカイカ水揚げ好調
(15)	「スタミナ源たれ風味」「りんご味」ポテトチップス販売

【地域】

記事	概要
(16)	青森銀行が移動店舗車導入 窓口機能とATM搭載
(17)	旅行雑誌「じゃらん」調査 2017年度“おもてなし”順位 青森県が全国3位
(18)	「パープルの会」準絶滅危惧種オオムラサキ雄の羽化に初成功
(19)	外国人からの119番に“助っ人”通訳センター同時通話サービスの運用開始
(20)	青森県の高齢化率 65歳以上31.32%で過去最高を更新
(21)	是川中1年の工藤さん 暗算検定 最高位十段に合格

【文化・スポーツ】

記事	概要
(22)	田名部記念アリーナ 危機乗り越え営業再開
(23)	バスケットボール「3X3（スリーパイスリー）」八戸にプロチーム発足へ
(24)	第100回全国高校野球選手権記念大会 八学光星が2年ぶりに甲子園へ
(25)	南郷野外フェス ジャズ熱く

記事	概要
(1)	<p>民俗芸能「えんぶり」初の大規模調査へ</p> <p>八戸市は2019年度、八戸地方などに伝わる民俗芸能「えんぶり」の大規模調査に着手する。約800年の歴史があるとされるが、分布範囲や歴史的背景、各えんぶり組のしきたりなどを網羅的に調べるのは今回初めて。国の補助金を活用し、6年間実施する見通し。活動団体の休止や縮小を背景に、文化や技術の保存、継承が課題となっており、市は資料や映像として残して次世代に伝える考え。歴史的背景や文化的価値がより明確になることで、市民の保護意識が高まる機会となりそうだ。</p>
(2)	<p>是川縄文館特別展「海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～」開幕</p> <p>八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の特別展「海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～」が7月21日、開幕した。世界文化遺産登録の国内推薦候補に決まった「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する17遺跡のうち4遺跡と、関連1遺跡からも出土資料が集まり、交流しながら豊かな縄文文化を築き上げた北海道と北東北の1万年の歩みをたどることができる。9月2日まで。</p>
(3)	<p>八戸まちなか広場「マチニワ」オープン</p> <p>三日町の八戸まちなか広場「マチニワ」が7月21日、オープンした。2階建てで、延べ床面積は約1250平方メートル。建設費用は約17億円。「まちなかの『庭』」がコンセプトで、シンボルオブジェの「水の樹」や203インチの大型ビジョン、可動式テーブルや椅子などを備える。年中無休で、開館時間は午前6時～午後11時。全面ガラス張りの外観が特徴で、施設のメインとなるイベント広場は9月以降、市民に貸し出す。市は中心街を訪れた市民らの休憩場所や、食のイベント会場などさまざまな用途での使用を想定している。</p>
(4)	<p>市立屋内スケート場 スケート中心？ 興行に力？ 活用方法に議論過熱</p> <p>2019年秋に供用開始予定の八戸市立屋内スケート場の活用方法を巡り、市民の関心が高まっている。市が財政負担や市内への経済波及効果、スポーツ振興など総合的な観点から、スケート場と興行（コンサートなど）を適切な割合で運営する「バランス型」を検討している一方、一部の市民からは「スケート中心で使うべきだ」「経済効果が高い興行に力を入れてはどうか」など“特化”した使い方を求める声もある。市のバランス型を支持する声も根強く、活用方法を巡る議論はしばらく過熱しそうだ。</p>
(5)	<p>八太郎地区に伝わる盆踊り「八太郎おしまこ」市無形民俗文化財に指定</p> <p>八戸市教委は、八太郎地区に伝わる盆踊り「八太郎おしまこ」を、8月1日付で市無形民俗文化財に指定することを決めた。太鼓などの楽器を使わずに生歌と地面をする足音を伴奏にして踊るといふ、八戸地方に古くから伝わる盆踊りの形態を残している点が評価された。いつから踊られてきたのかは不明だが、ヤマセに悩まされてきた住民が手ぶりで豊かに実った稲穂を表現し、豊作を祈願した踊り。全国的に伝統芸能の伝承が難しくなっている中、「八太郎おしまこ保存会」を中心に、伝承活動が盛んなことも認められた。市指定文化財は計71件となる。</p>
(6)	<p>屋内スケート場 屋根の鉄骨工事完了 進捗65%</p> <p>八戸市長根公園内に建設中の市立屋内スケート場は、本体建築工事の進捗率が約65%に達した。今年3月末から進められてきた屋根の鉄骨工事は7月27日、仮設の支柱と鉄骨を切り離す最終工程「ジャッキダウン」によって完了し、鉄骨だけで完全に自立する状態となった。今後は来秋の供用開始に向けて、リンク部分を含めた内装や外装部分の工事が本格化する。建築工事は来年6月に完了する予定。</p>

(7)	<p>世界遺産登録へ猪突猛進 インシシ折り紙2020個でオブジェ作り</p> <p>「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けた機運を盛り上げようと、青森県は7月28日、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館など県内の縄文遺跡関連4施設で来館者にインシシの折り紙を折ってもらう企画をスタートさせた。9月に各施設の折り紙を集めて、世界最大のインシシの形をしたオブジェを作り、ギネス記録に挑戦する予定。折り紙は、弘前市の「十腰内2遺跡」から出土した「猪形土製品」をイメージ。縄文遺跡群は早ければ2020年に登録が決まることから、折り紙の制作目標を2020個に設定した。</p>
(8)	<p>バトン指導者の小笠原さん、小清水さん姉妹 八戸市スポーツ大使に</p> <p>八戸市は7月30日、同市でバトントレーニングを指導する小笠原祐子さん、小清水倫子さん姉妹に市スポーツ大使を委嘱した。任期は来年3月末まで。2人は同市出身。2006年に姉妹で出場した「世界バトントレーニング選手権」のペアシニア部門で優勝した。現在は同市のバトンチーム「Aries」で後進の育成に当たる。市庁での委嘱状交付式で2人は、「バトンと八戸の魅力を広めたい」と決意を示した。</p>
(9)	<p>八戸市と苫小牧市が連携協定 交流人口の拡大目指す</p> <p>八戸市と北海道苫小牧市は、7月31日、交流連携協定を締結した。地方を取り巻く環境が厳しさを増す中、相互の連携・協力態勢を強化。さまざまな事業によって、交流人口の拡大や両地域の活性化を目指す。同日は八戸市内で調印式を行い、ロゴマークと共に連携の愛称を「はちとまネットワーク」とすると発表した。</p>

【産業】

記事	概要
(10)	<p>八戸圏域版DMO設立へ 関係3団体が統合合意</p> <p>2019年4月の八戸圏域版DMO（観光ビジネス活動体）設立に伴い統合する、八戸地域地場産業振興センターと八戸市物産協会、八戸観光コンベンション協会の3団体が7月20日、合併の目的や方針をまとめた基本合意書を締結した。12月に国からDMO候補法人として登録されることを目指す。統合は、観光や物産の分野に関わる団体を一本化することによって、事業の合理化と基盤強化を図るのが狙い。組織体制や事業内容などについて協議を進め、10月に合併契約書を取り交わす予定。</p>
(11)	<p>八戸港でマイワシ大漁続く 操業10日で昨季の2割</p> <p>八戸港で巻き網船団によるマイワシの大漁が続いている。7月18日は船団10カ統が今季最多の約2425トンの水揚げした。9日に八戸を拠点とする操業をスタートしてから10日ほどで、昨年1年の漁獲量の約2割に達している。ただ、数量が好調な半面、魚体サイズは小さめ。加工や鮮魚などに使える大きめのサイズは数%にとどまり、大半を占める40～50グラムサイズは養殖魚の餌や魚油製造などに回るとみられる。仲買業者は「小さいのに加え、まだ脂も少ない。餌用に出荷するだけでは利幅が薄い」とため息をつく。</p>
(12)	<p>八戸と日南（宮崎）の道の駅「なんごう」同士 活性化へ連携協定</p> <p>八戸市と宮崎県日南市で、それぞれ同じ名称の「道の駅なんごう」を運営している双方の指定管理者同士が7月19日、地域活性化包括連携協定を締結した。産直スペースに特設コーナーを置き、八戸側は南郷そばのセットやブルーベリーなどの果実、日南側はマンゴーや日向夏、芋焼酎などをそれぞれ送る予定。かつては自治体間で相互交流を行っていた両者。今回は互いの特産品の販売や新商品開発などを通じ、新たな形での連携を目指す。</p>

(13)	<p>工大二高生開発 ～南部せんべいでスイーツ～</p> <p>八戸工大二高の2年生が、南部せんべいを使ったオリジナルのスイーツ2種類を開発し、7月15日、16日の両日に開催された同校文化祭で販売した。「クラッカーチーズケーキ」は、カップに入ったレアチーズケーキで、小さく割ったせんべいをふんだんに投入。「チョコクラッシュボール」は、丸いチョコレートケーキの外側に砕いたせんべいをまぶした。来場者から注目と人気を集め、用意した分は完売。生徒たちはスイーツ作りを通し、郷土に根付いた食文化についても関心を深めた。</p>
(14)	<p>八戸港 船凍アカイカ水揚げ好調</p> <p>八戸港で中型イカ釣り船による船凍アカイカの水揚げが好調だ。例年は一度水揚げすると北太平洋のアカイカ漁を切り上げて日本海のスルメイカ漁に向かうが、漁獲が多い今年は7月21日までに水揚げした13隻の大半が北太平洋に戻り、アカイカ漁を続行している。昨年の水揚げ実績を上回るのは確実な情勢。高止まりしてきた販売価格も落ち着いており、スルメイカの不漁などに苦しむ八戸の水産業界にとっては久々に明るい話題となりそうである。</p>
(15)	<p>「スタミナ源たれ風味」「りんご味」ポテトチップス販売</p> <p>食品関連の商品開発などを手掛けるトモシアホールディングス（東京）は、大手菓子メーカーの湖池屋（同）と共同で、ポテトチップス「スタミナ源たれ風味」「りんご味」を開発した。スタミナ源たれを製造する上北農産加工（十和田市）も開発に協力。7月30日から期間限定で全国販売し、青森県の味を広く発信する。「スタミナ源たれと県産リンゴの果汁を粉末にして使い、素材の風味が楽しめる。全国に地域の食文化や、おいしい食材を知ってもらいたい」とPRする。共に内容量55グラムで、価格は120円（税別）。販売は9月末まで予定し、在庫がなくなり次第終了する。</p>

【地域】

記事	概要
(16)	<p>青森銀行が移動店舗車導入 窓口機能とATM搭載</p> <p>青森銀行は7月27日、銀行窓口機能と現金自動預払機(ATM)を搭載した移動店舗車「aomobile（あおも〜びる）」の運行を始める。車両は3トントラックを改修。発電機を搭載し、電源がない場所でも営業できるほか、外部への電源供給も可能。本店営業部の職員が運行を担い、各種預金手続きや公共料金の払い込みなどの業務を取り扱う。店舗空白地域での金融サービス提供や災害発生時の緊急対応に活用し、顧客の利便性向上を図るのが狙いである。</p>
(17)	<p>旅行雑誌「じゃらん」調査 2017年度“おもてなし”順位 青森県が全国3位</p> <p>旅行雑誌「じゃらん」を発行するリクルートライフスタイル（東京）が行った2017年度宿泊旅行調査の都道府県魅力度ランキングで、青森県が「地元のホスピタリティ（もてなし）を感じた」の項目で3位に入り、前年度の21位から大きく順位を上げた。「宿泊施設や駅以外の場所でも親切な人が多かった」との感想が目立ったほか、祭りなど地元住民と触れ合う体験型旅行が好評を博し、観光業界と住民が一体となったもてなしが高評価につながったとみられる。</p>
(18)	<p>「パープルの会」準絶滅危惧種オオムラサキ雄の羽化に初成功</p> <p>国蝶オオムラサキの保護活動を手掛ける八戸市の市民団体「パープルの会」が、オオムラサキの飼育で、雄の羽化に初めて成功した。オオムラサキは環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に、青森県レッドデータブックで希少野生生物にそれぞれ指定されている。同会によると、オオムラサキを取り巻く環境は年々厳しくなっている。餌となる樹液を作り出すエゾエノキが減ってきているほか、クモや蜂、カラスといった天敵が多く、幼虫時に捕食されてしまうことが多い。このため人工的な飼育には、外敵から襲われないよう、網で囲まれた空間が必要になるという。昨年の雌に続く成功で、同会は「オオムラサキの里づくりに向けた一歩になる」と喜んでいる。</p>

(19)	<p>外国人からの119番に“助っ人” 通訳センター同時通話サービスの運用開始</p> <p>外国人からの119番通報に迅速かつ的確に対応しようと、八戸消防本部は5月、通報者、消防本部、民間通訳センターの三者間同時通話サービスの運用を開始した。これまで指令員が個々に対応してきたが、同サービスの導入で、より正確な情報把握が可能となる。さらに6月には救急隊員の携帯端末に、外国語と日本語を音声と文字で翻訳するアプリを導入。今後、外国人観光客などの増加が見込まれる中、これらの多言語対応システムは、1分1秒を争う救急現場で心強い“助っ人”になりそうだ。</p>
(20)	<p>青森県の高齢化率 65歳以上31.32%で過去最高を更新</p> <p>青森県の2017年度の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は31.32%で、過去最高を更新したことが分かった。市町村別に見ると、今別町の52.22%が最も高く、最低は三沢市の24.65%、八戸市は28.87%だった。県の人口減少が続く中、高齢者は今後も増加して医療費も増える見通しで、高齢社会に対応する総合的な施策が一層求められている。</p>
(21)	<p>是川中1年の工藤さん 暗算検定 最高位十段に合格</p> <p>全国珠算教育連盟が主催する暗算検定で、八戸市の惣門珠算・算数教室に通う市立是川中1年の工藤小陽さん(13)が、最高位の十段に合格した。同検定は掛け算、割り算、見取り算の三つの暗算を実施。それぞれ200点満点中190点以上を取ることで十段に認定される。市内では4年ぶりの快挙となり、また同教室は開設から50年以上になるが、十段に合格したのは工藤さんが初めてだという。</p>

【文化・スポーツ】

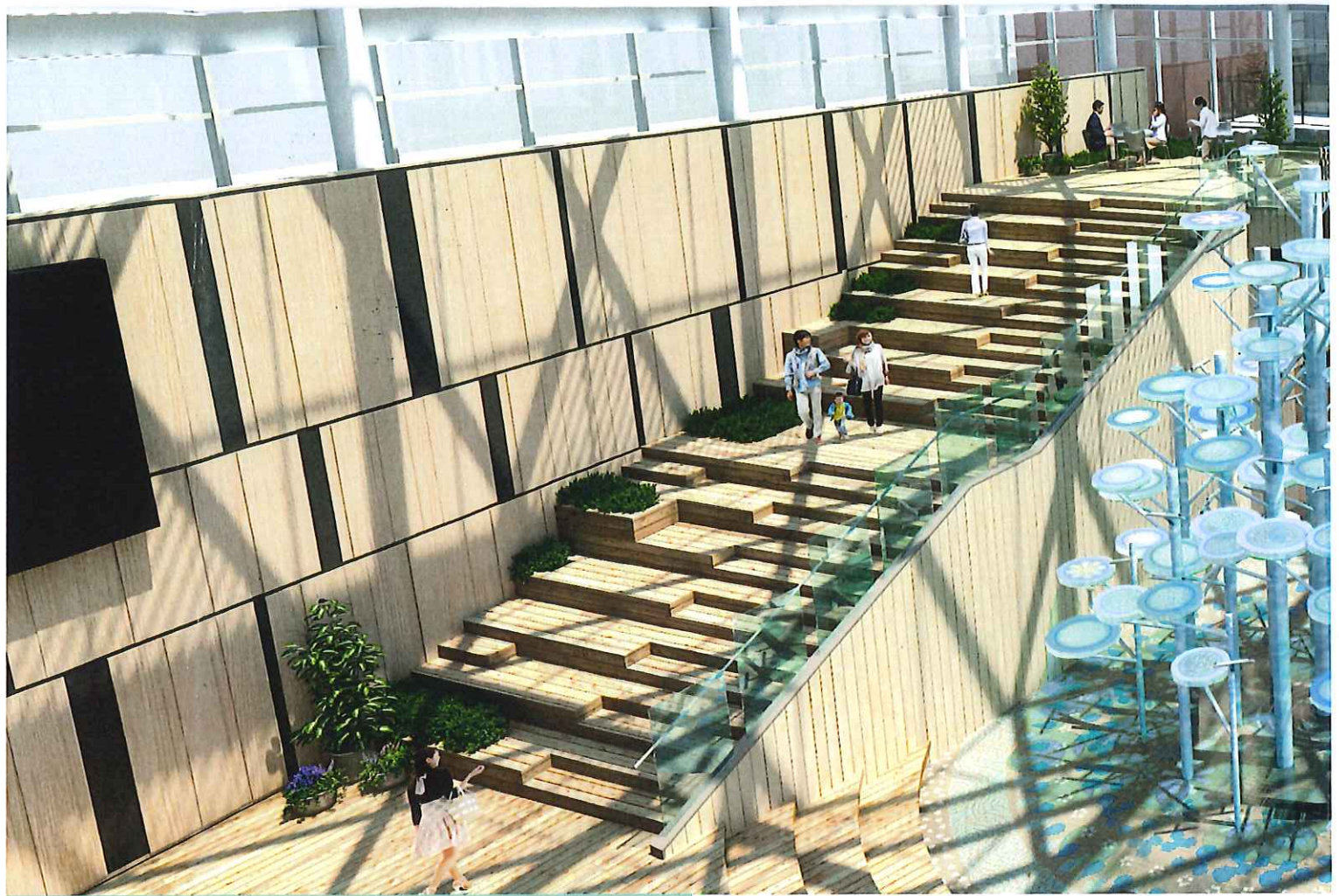
記事	概要
(22)	<p>田名部記念アリーナ 危機乗り越え営業再開</p> <p>4月22日に閉鎖した「田名部記念アリーナ」が7月5日、営業を再開した。同アリーナを巡っては、老朽化が著しく、運営費以外に1千万円以上の修繕費がかさむことなどから施設を運営する青森県アイスホッケー連盟が今年4月での営業終了を決定。だが、その後再開を望む市民からの嘆願書などを踏まえ、市が財政支援を決めたことから再開のめどが立った。長谷川睦雄館長によると、再開に向けて製氷機械類の更新などを行ったといい、「尽力した関係者の支援に感謝したい」と謝意を示した。</p>
(23)	<p>バスケットボール「3X3（スリーバイスリー）」八戸にプロチーム発足へ</p> <p>若者を中心に人気を集める3人制バスケットボール「3X3（スリーバイスリー）」のプロチーム「八戸DIME（ダイム）」が9月にも八戸市をホームタウンとして発足することが分かった。北東北初のプロチームで、来年度から国内のプロリーグ「3X3. EXE PREMIER」（全36チーム）に参戦する予定。同競技は、2020年東京五輪の正式種目として新たに加わる事が決まっており、チーム関係者は「八戸から五輪選手を輩出したい」と意気込んでいる。</p>
(24)	<p>第100回全国高校野球選手権記念大会 八学光星が2年ぶりに甲子園へ</p> <p>第100回全国高校野球選手権記念青森大会の決勝が7月22日、弘前市のはるか夢球場で行われた。八学光星が6-4で弘学聖愛を下して2年ぶり9度目の優勝を果たし、出場59チームの頂点に立った。過去最多の56チームが顔をそろえる節目となる大会での甲子園出場を決めた。組み合わせ抽選会は8月2日に行われ、8月5日に開幕する。</p>
(25)	<p>南郷野外フェス ジャズ熱く</p> <p>東北最大級の野外ジャズイベント「第29回南郷サマージャズフェスティバル2018」が7月28日、八戸市南郷のカッコーの森エコーランドで開かれた。同市にゆかりの深い米国出身のジャズピアニスト、デビット・マッシューズさん率いる「マンハッタン・ジャズ・オーケストラ」など5組が熱演。全国から集まったジャズファン約1700人が体でリズムをとりながら、一流の音色に酔いしれた。</p>

みんなとつながる
まちなかガーデン



八戸まちなか広場
マチニワ

2018.7.21 (sat)
GRAND OPEN



マチニワって
どんなところ？

どんな使い方が
できるの？

マチニワ

光・緑・水などの**自然を感じられる**
透明感あふれる
心地よい**場所**として

まちなかの「**庭**」
のような**場所**として

テーブル・椅子がいつもある
バスの待合い & **憩い**の**場所**として

中心街にある
オープンエア（屋外）の
「**なにか**」、「**誰か**」に出会える
場所として



●施設の
八戸で初
左右され
入れ、夜は
通りぬける
一定の快適

<施設概要>

■オープン時間

6:00～23:00（この時間以外は通行できません）

■休館日

なし（設備点検などで臨時休館日を設ける場合があります）

■貸出時間

9:00～21:00（はっちの開館時間と連動）

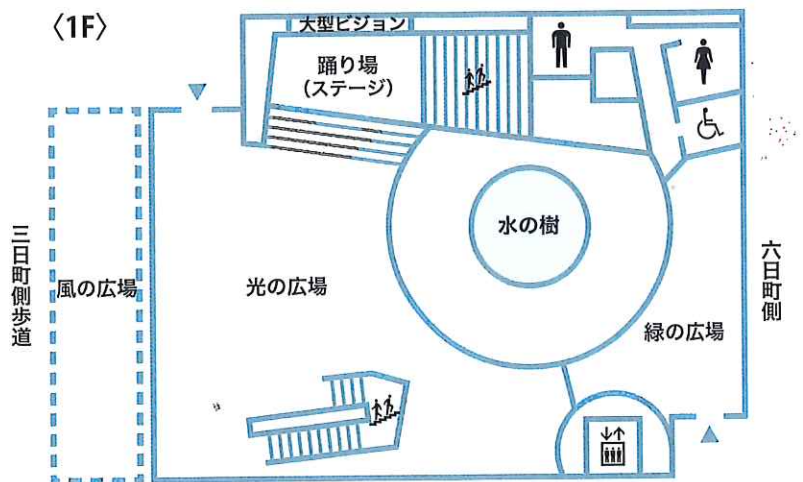
※貸出時間外のエリア毎の貸出はできませんが、
ケータリングカーでの移動販売やストリート
ライブなどの小規模利用は可能です。

（貸出時間外は備品の貸出はできません）

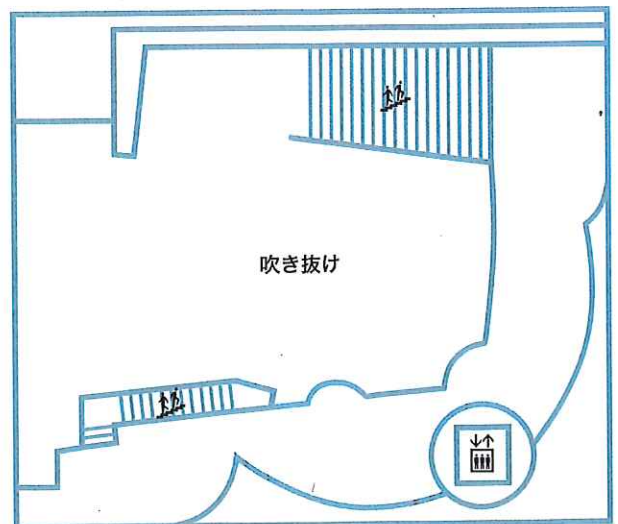


ガラスの屋根つき広場として、雨や雪などの天候にごせる多目的スペースです。日中は“自然光”を取り、^{あんどん}の行灯”として機能します。春から秋にかけては、風が空間として、冬季は大型スライドガラスを閉じることで保つことのできる憩いの空間として、活用できます。

<1F>



<2F>



<設備など>

■ 1階

- ・シンボルオブジェ「水の樹」(水飲み場設備あり)
- ・大型ビジョン(203インチ、縦2.5m×横4.5m)
- ・可動式テーブル、椅子
- ・エレベーター(15人乗り)
- ・男女別トイレ、多目的トイレ
- ・バスロケーションシステム

■ 2階

- ・ベンチ
- ・可動式テーブル、椅子

■ その他

- ・公衆無線LAN(Wi-fi)
- ・イベント用電源、給排水栓
- ・駐車場なし(周辺の民間有料駐車場をご利用ください)
- ・授乳室なし(はっち4階こどもはっち内をご利用ください)

●貸出利用案内

■使用手続きについて

八戸まちなか広場 マチニワのご利用に際しては、八戸ポータルミュージアム はっちにおいて使用者登録の上、申込みにあたる使用申請が必要となります。通常の申請期間よりも前に申請ができる、早期抽選申請もありますので、八戸ポータルミュージアム はっちの施設予約システム(ウェブ)をご覧ください。

■予約方法について

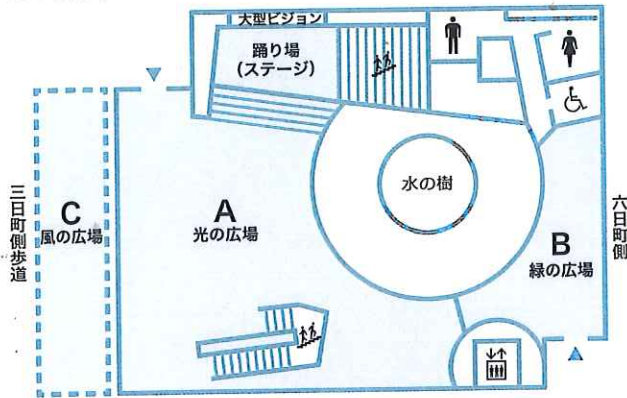
八戸ポータルミュージアム はっちインフォメーション(窓口)、または施設予約システムからご予約ください。
※2018年9月1日以降分からご予約が可能です。

■貸出エリアについて

- (A) 光の広場 (455㎡)
- (B) 緑の広場 (68㎡)
- (C) 風の広場 (90㎡) ※屋外(屋根なし)

※ステージ・風の広場は、光の広場を含んだ使用の場合のみ利用可能です。
※2階は休憩スペースのため貸出は行いません。
※物品販売や企業利用などをされる場合は、通常料金の3倍となります。
※貸出備品の料金については、別途お問合せください。

〈1F 貸出エリア〉



〈広場使用料金〉

	面積	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	午前・夜間
		9-12時	13-17時	18-21時	9-17時	13-21時	9-21時
全面(A-C) (ステージ含む)	455㎡ (137.9坪)	11,780円	15,720円	11,780円	24,750円	24,750円	31,440円
A.光の広場	264㎡ (80.0坪)	6,840円	9,120円	6,840円	14,370円	14,370円	18,240円
B.緑の広場	68㎡ (20.6坪)	1,760円	2,350円	1,760円	3,700円	3,700円	4,700円
C.風の広場	90㎡ (27.3坪)	2,330円	3,110円	2,330円	4,890円	4,890円	6,220円
ステージ	33㎡ (10坪)	850円	1,140円	850円	1,790円	1,790円	2,280円



〈交通のご案内〉

- バス / 八戸駅東口から八戸中心街方面行き【約25分】
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ
- 鉄道 / 八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車、徒歩【約10分】
- 航空機 / 三沢空港から八戸市内シャトルバス【約55分】
- フェリー / 八戸港フェリーターミナルから車【約15分】
- 車 / 八戸駅から車【約20分】
- ※十和田市現代美術館から中心街への直通バスあり【約80分】

八戸まちなか広場 マチニワ

青森県八戸市三日町 21-1 (はっち向かい) [HP] hacchi.jp/machiniwa/
[E-mail] machiniwa@city.hachinohe.aomori.jp

〈問合せ〉 八戸ポータルミュージアム はっち

青森県八戸市三日町 11-1 [HP] hacchi.jp
[TEL] 0178-22-8228 [FAX] 0178-22-8808
[E-mail] hacchi@city.hachinohe.aomori.jp
[受付時間] 9:00~21:00

[休館日] 毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日) 12/31、1/1